

Fly High, Together!



12月になりました



今年も残すところ後1ヶ月となりました。月日が経つのがとても早く感じられます。今月は、生徒会役員選挙が行われ、いよいよ2年生が学校の中心となる時期が迫ってきました。これからは、自分たちだけでなく、学校全体のことを考えていかなければなりません。そのためには、学年の横の繋がりがより強く太いものになっていなければなりません。またそのためには学年全体として考えていかなければならないことが多々あるように感じられます。先日道德の授業で、「仲間の中の自分」と

いうテーマで、アイシンシーホースというバスケットボールチームの話について学習しました。バスケットボールは、その競技の特徴から若い選手が多く活躍するスポーツだそうです。その中で、アイシンシーホースに集まって来たメンバーは、前チームから追われた30歳を過ぎた選手達ばかりでした。他チームから見ると不利に見えるチーム編成でしたが、このチームが大切にしていたことは、自分が頑張ることはもちろんですが、仲間を生かすために自分ができることは何かということについて考えるということでした。自分の苦手なことも素直に認め、そこをチームで補い合うということです。そうすることで、仲間の活躍を素直に応援できるようになり、チーム内がとても温かい雰囲気になりました。その年、アイシンシーホースはリーグ優勝し、3連覇を達成することができました。佐古賢一選手は、「最近俺ではなく、俺たちという言葉を使うようになった」と言っています。「人を生かして自分が生きる。自分を生かして人を生かす。」「仲間を大切にすると仲間から慕われる。」集団をよりよくするために自分ができることはどんなことがあるのか、このことを常に考え行動することができたら、2年生はもっと集団として成長していくことができると思います。道德での学びを意識して、大切な1ヶ月を過ごしてほしいと思います。

山口大学を訪問しました

11月22日(火)に、山口大学吉田キャンパスを訪問しました。吉田キャンパスには7つの学部があり、とても広く、自然と融合した憩いの場がたくさんある、そこにいるだけでわくわくしてくるような場所でした。

大学に到着した後、学生食堂の一部をお借りしてオリエンテーションが行われました。大学職員の黒木さんから山口大学について説明をしていただきました。その後、学校見学(図書館)に行くグループと大学生からの話を聞くグループの2つに分かれました。山口大学の図書館はとても広く、自主学習ができるスペースでは多くの学生が勉強に励んでいました。大学生からの話を聞く場面では、後期教育実習を本校で行った5名の教育実習生が子どもたちのために集まって来てくださり大学生活の様子や大学の授業のことなどを話して聞かせてくれました。特に、大学受験の時の経験談では、目標を早めに決めておくこと、同じ問題習を何度も繰り返し解いてみることで、計画を立てて学習に取り組むことなどを話してくれました。来年度受験生となる子どもたちは、真剣に話を聞いていました。

昼食は、学生食堂を利用した子どもが多くいました。学生や職員も利用するため、食堂は大変賑わっていました。子どもたちは、自分の食べたいものを選ぶことができるので、とても楽しそうでした。食後のデザートをうれしそうに食べている姿も印象的でした。

午後からは、それぞれの興味関心に合わせて選択した学部の訪問が行われました。教育学部の幼児教育、美術教育、地理学、そして経済学部、理学部、農学部、国際総合科学部に分かれて見学しました。専門的な研究をされていることを肌で感じることができ、中学生にも分かりやすくお話をしてくださったので、子どもたちは学ぶことへの意欲や将来の進学への思いを強くしているように感じました。

最後に、山口大学副学長先生から、「明るい未来をつくるために」という演題で講演をしてくださいました。山口県には江戸時代、東京（江戸）と同じくらい寺子屋があったこと、高い識字率があったことなど、昔から人を育てることに熱心であったそうです。また、奈良時代には古代テクノポリス（工業地帯）があったり、明治産業革命のときには、山口県から多くの起業家が生まれ活躍したことを教えて下さいました。さらに、長登銅山や反射炉、鑄銭司といった遺跡や吉田松陰の精神などから、山口県は昔からチャレンジ精神が旺盛であったこともお話してくださいました。最後に、「過去は過去として、学ぶべきはしっかりと学びましょう。そして山口県についてもっと知りましょう。これからの未来をつくるのは皆さんです」と熱いエールを送ってくださいました。短い時間ではありましたが、心に残るお話を聞かせてくださいました。

山口大学への訪問は、学ぶことが多く、とても充実した時間となりました。これからの明るい未来をつくっていく子どもたちにとって、実りの多い一日となりました。企画の段階から、多くの方のご協力をいただき、この日を迎えられることに感謝いたします。ありがとうございました。



AED 講習会がありました



11月30日（木）に、2年生を対象とした AED 講習会が開かれました。AED とは、自動体外式除細動器のことで、不整脈の患者に電気ショックを与えて正常なリズムに戻すための医療機器です。子どもたちは、保健体育の授業で事前に AED について学び、講習会の日を迎えました。AED を一般の人が使えるようになってから、それまで救えなかった命が救えるようになったという映像を、最初に見させていただきました。それから、グループに分かれて胸骨圧迫の練習を行いました。約

5センチ胸が沈むように、一定のリズムに合わせて押し続けることは大変難しかったです。その後、実際に AED の使い方について学習しました。倒れた人に声をかけること、周りの人に声をかけて AED を持ってきてもらったり、119番に連絡してもらったりすること、胸骨圧迫を続け、AED が届いたらパッドを胸に張り心拍を解析して電気ショックの必要性を確認したりするなど、一連の流れをみんなで確認しました。このように、AED を使う場面に出会ったとき、まずは行動に移す勇気が大切であると教えていただきました。そして、みんなで協力することの大切さも学びました。今日の講習会で全てが身につく訳ではないので、何度も講習を受けて知識を深めていくことも大切であると分かりました。人の命を救う力になれることを実感することができた時間となりました。